



小児保険装置

むし歯や外傷など何らかの理由で乳歯を抜歯することになった場合、奥歯の場合は抜いた歯の隣の歯は抜いた歯の方向へ傾いていきます。このことで後から萌える永久歯が出てくる場所がなくなり、結果的に歯並びが悪くなったり、場合によっては永久歯が出て来れない場合があります。このことから、歯が傾いたり抜いた乳歯の後に萌えてくる永久歯のスペースを保持しておく必要があります。

また、抜けた乳歯が前歯の場合、見た目や発音、舌の運動などに影響が出てくることがあります。

以上のことと予防する装置が『隙間を保つ装置である『保険装置』です。保険装置には保険適応のものと私費になるものがあります。保険か私費かについては抜く歯や抜ける理由によります。下図では青枠が保険診療適応、赤枠は保険診療適応外です。詳しくは院長へご質問ください。

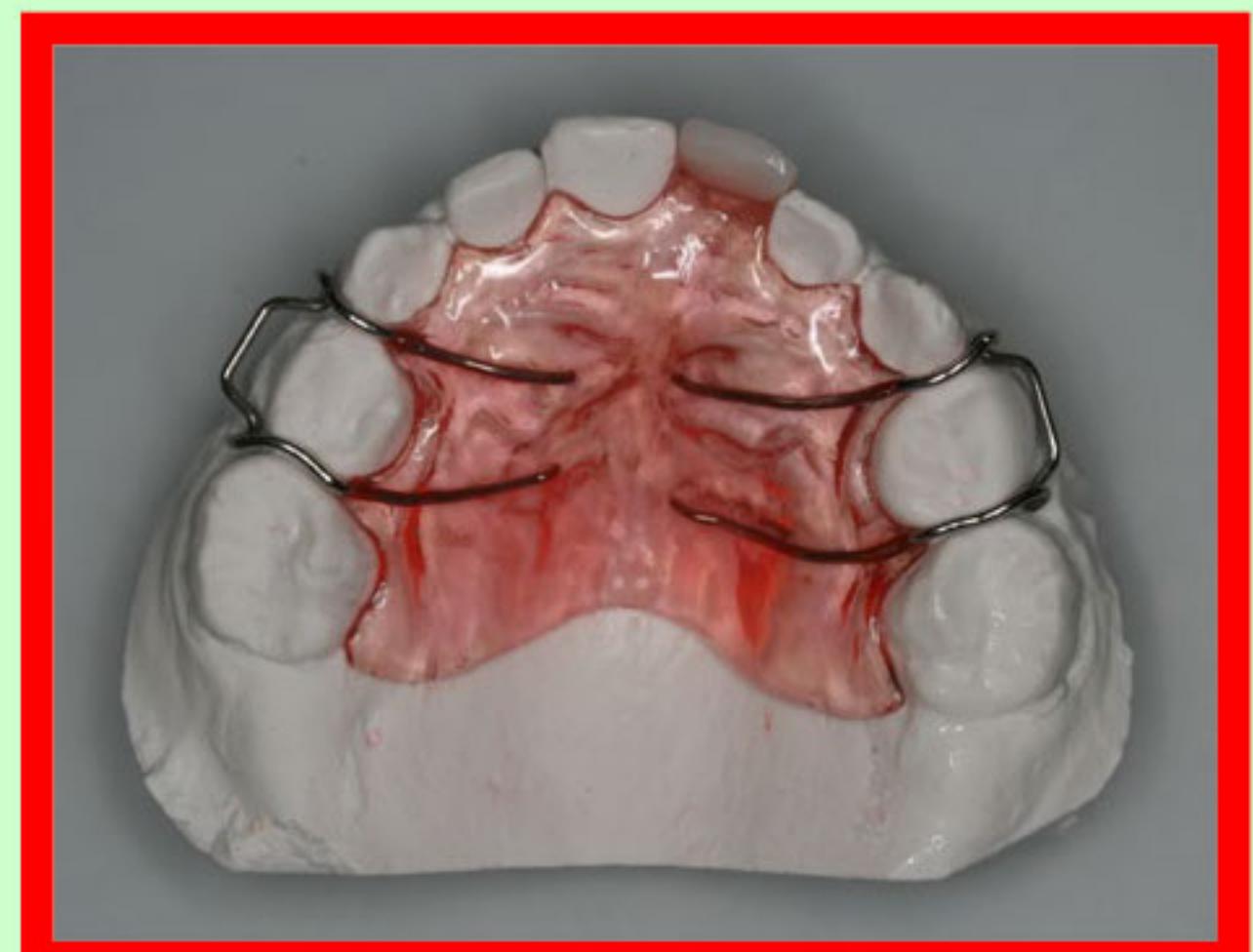
保険装置の例



バンドループ



ナスの保険装置



入れ歯型保険装置（上顎）



リングルアーチ



入れ歯型保険装置（下顎）

詳しくは当院へご相談ください



ふたぎ歯科医院

